

## 1570 | 情報通信ネットワーク

3 単位（通信授業 1 単位・面接授業 2 単位）

清水恒平准教授、松川剛之講師、山田興生講師

## 授業の概要と目標

情報技術を“学ぶための技術と姿勢”を学ぶことを目標とします。

情報通信ネットワークは、社会に深く浸透しています。私たち使い手は、あって当たり前のサービスとしてそれらを利用する一方、コンピュータの技術（道具）の多くは作り手と使い手が一体となったDIYの世界の蓄積によって進化してきました。木工を経験したことがある人ならわかるとおり、それぞれの道具は歴史を通じて洗練され、正しく使うためにはその形態の意味や背景を学び、身体を訓練する必要があります。洗練された道具を適切に扱うことでしか生まれないものがあるという点においては、コンピュータも木工も変わりありません。授業では、作る道具としてのコンピュータとネットワークの歴史に触れるとともに、それらを自力で学び、使い、作るため何が必要かというテーマを掘り下げてみたいと思います。実習を通じて、異なる世界の道具観、論理的思考、解決に向けた問題の切り分けかた、身体訓練、記録方法といった、個別技術に依存しない学ぶための技術と姿勢を学びます。

## 課題の概要

## ○通信授業課題 1

ネットワークの技術や概要についてのパネル制作（計画案レポート）

## ○通信授業課題 2

ネットワークの技術や概要についてのパネル制作（パネル制作）

## ○面接授業課題

前半 最初にネットワークの仕組みについてのディスカッションと発表を行う。その後、Linuxの基本操作、Markdownによる作業記録、AWS（Amazon Web Services）の利用方法、そしてこれらの未知の技術を調べて自力で理解するための基本姿勢を学ぶ。

## ○OLP オンラインプラス [中間]

Facebookのグループ機能を通じて、課題について記録した内容について評価、ディスカッション、学生同士でのアドバイスなどを行う。

\* Facebookアカウントを持たないものは新規に作成すること。

後半 構築したAWS上でPythonをつかったWebページのスクレイピングを行う。プログラムの自動実行の仕組みを学び、構築したサーバをデータ収集システムとして利用可能にする。なおこの仕組みは4年次にも使用する前提で構築を進める。

## 授業計画

面接授業の前に、教科書に目を通しておくこと。

## 成績評価の方法

面接授業及び通信授業の総合評価とする。面接授業ではとくに技術的な到達点ではなく、ドキュメントの内容や論理的思考・問題解決にあたる姿勢を評価する。

---

履修条件及び履修年次	<p>[履修年次] 3年次</p> <p>[履修条件] 「情報システム基礎Ⅰ・Ⅱ」の単位を修得していること（デザインシステムコース3年次編入学生除く）。</p> <p>[備考] デザイン情報学科デザインシステムコース3年次必修科目。</p> <p>以下の条件を満たすコンピュータ、ソフトウェアを所有するか、もしくは利用できること。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・Macintosh または Windows で、少なくとも 300 万画素の画像をストレスなく処理できるもの</li><li>・画像の編集作業ができるソフトウェア（Adobe Photoshop など）</li><li>・企画書制作のためのページレイアウト用ソフトウェア（Adobe Illustrator、InDesign など）</li><li>・インターネット接続環境</li><li>・面接授業では大学の Mac を使用することも可能だが、自分のノート PC を持参することを強く勧める。</li></ul> <p>購入を検討中であれば持ち運び可能な Mac（MacBook、MacBook Pro、MacBook Air）を勧める。</p> <p>※スクーリング時に受講人数を制限する場合がある。</p>
------------	--

---

教材等	<p>教科書：大塚裕幸『基本からわかる 情報通信ネットワーク講義ノート』（オーム社 2016年）</p> <p>学習指導書：『情報通信ネットワーク 平成29年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）</p>
-----	--

---

その他	<p>参考文献：『新しいLinuxの教科書』（大角祐介著 SBクリエイティブ 2015年）</p>
-----	---